

【参考資料】

## 下呂市 「小・中連携による中1不登校の未然防止」の取組の紹介

下呂市では、中学校区のブロック「〇〇ブロック教育会」の中に「校長会」「教頭会」「生徒指導部会」「各学年部会」「特別支援教育部会」「道徳部会」などを位置付け、部会を定期的に開催している。各部会では、各校の児童生徒の様子の情報交流を行ったり、ブロックとしての取組について協議したりする。

### <「部会」における取組例>

(1) 校内で気になる児童生徒について情報交流をし、その子の成長について共通理解をするとともに、支援の具体化を図る。

#### ①第三者による意図的な認め言葉がけ

- ・中学校での生徒のよい姿を、できるだけタイムリーに出身の小学校に連絡を入れるようにする。そして、生徒が放課後や休みの日に小学校を訪れた時などに、小学校の教師から中学校での頑張りをほめてもらう。また、小学校を訪問した時や、地域での中学生のよい姿を中学校へ連絡してもらい、小学校・中学校ともに温かく見守っていることが分かるようにする。

#### ②保護者の不安感を払しょくするための面談の実施

- ・中学校に入学することに対して不安を抱いている保護者に対して、小学校の教師と中学校の教師が面談をする場を設定し、保護者の心の安定を図るようにする。

(2) A中学校入学説明会の在り方について協議し、以下のとおり取り組む。

#### ●中学校1年生による小学校訪問

- ・中学校の総合的な学習の時間に、1年生が校区の小学校（4校）を訪問し、A中学校の伝統の一つである「合唱」を披露する。その際、小学校6年生に「中学校入学説明会」で『翼をください』を一緒に合唱することを提案する。

#### ●中学校入学説明会の工夫

- (1) 小学生と中学生が合同で「音楽」の授業を行い、合唱を楽しむ。
  - ・最初に、心ほぐしの活動を行い互いが近づきリラックスできるように工夫する。
  - ・中学校1年生と小学校6年生が、それぞれ高音・低音の2つのパートに分かれて練習し、最後に合同で合唱をする。（指導者は、中学校の音楽担当教師と小学校の教師。）
- (2) 小学生と中学生がグループを作って給食を食べる。
  - ・中学生を出身学校別に分けて出身学校ごとのグループを編制し、小学生と一緒に語りながら給食を食べる。
- (3) 小学生と中学生と一緒に掃除をして伝統を知る。
  - ・小学生を中学生の普段の掃除のグループに組み入れ、中学生がリードしてA中学校伝統の一つである「黙働掃除」を一緒に行う。

合同授業の音楽では「翼をください」を歌いました。私は高音で、1年生の人に並び順などを教えていただきました。私の後ろに1年生の人がいて、歌っていると、大きな響く声が聞こえてきました。「すごいなあ」と思いました。

掃除の時には、私は玄関掃除だったけれど、3年生の人が私たちに優しく掃除の仕方を教えてくださいました。みんな、静かにてきぱきと掃除をしていました。掃除が終わったら見つけ掃除をしていて、「さすがだなあ」と思いました。授業参観では小学校とは違うところがたくさんあり、私が中学生になったらばんばん拳手をして、勉強をがんばろうと思いました。

(入学説明会後の小学校6年生の児童の感想から)